



運動会のスローガン

**「心に真っ赤な情熱を 背中に白い翼を 仲間を信じて つきすすめ」
ともに讃え合う ファイトある運動会**

校長 西尾 光生

9月10日(土)、天候にも恵まれ、令和4年度の運動会を無事終えることができました。

運動会のスローガン「心に真っ赤な情熱を 背中に白い翼を 仲間を信じて つきすすめ」を掲げ、6年生のリーダーシップの下に、赤団、白団それぞれに工夫し、団をまとめ上げて運動会に臨みました。この大きな行事を通して最高学年としての自覚を一層高めたことと思います。また、どの学年も短い練習期間にも関わらず、懸命に練習に取り組み、力を発揮することができたことと思います。特に、競い合う中にも、互いに讃え合う姿からは、運動会の大きな目的のひとつを、子供たち自身の手で果たすことができたものとうれしく思っています。



マーチングバンド



表彰式

今年度も制限のある中、保護者の皆様には、感染症対策にご協力いただき、感謝申し上げます。また、PTA役員の皆様には、保護者への事前の諸注意事項の作成をはじめ、テントの準備と後始末、児童の手指の消毒等、お力添えをいただきました。ありがとうございました。

行事遂行の是非に伴う判断に難しさを感じながらも、学校に対する理解と協力してくださる保護者の皆様の力の大きさを改めて感じているところです。今後ともどうぞよろしくお願いを申し上げます。

主体的・対話的で深い学びを求めて・・・ 学校訪問研修から

9月15日(木)に、学校訪問研修を行いました。これは、富山県教育委員会と入善町教育委員会の先生方に本校の授業及び教育活動を見ていただくものです。午前中に授業や休憩時間の様子、給食の様子を見ていただきました。午後からは、県教育委員会の指導主事と本校の教職員で、授業や子供たちの様子について話し合う時間を設定し協議しました。

文部科学省の新学習指導要領が完全実施されて3年目、教育課程の大きな位置付け「主体的、対話的で深い学び」を子供たち自身が身に付けていくよう教育現場の指導方法が問われています。

子供たちへの学力の向上とともに、その学習方法を身に付けていくための教員の指導方法について助言を受けました。県教委の指導主事からは「教員と子供たちとの関係のよさが授業に表れていた。安全で安心できる関係性と環境が整っていた。」「話し合う活動から考えを深めていく姿が見られた」「タブレットを使って互いに考えを確認し合う姿があった。」等、学習に取り組む子供の姿や私たちの授業への取組を認めていただき、今後のさらなる実践への自信にもなりました。

反面、支援を要する児童について、その児童の困り感を保護者とともに理解し、その子の実情に応じた教育の在り方を考えていくことの大切さについても助言を受けました。今後、さらなる児童理解に努めるとともに、保護者と連携を図って適切な教育活動を進めて行くことの大切さを改めて感じたところです。



授業の様子